



目めくり

希望対話

21世紀を生きる君たちへ



1日

一年だけの友情もある。一生続く友情もある。あせることはない。今、友達がいない人は「いつか素晴らしい友達ができるから、今いないんだ」と思って、自分を立派にたくっていけばいい。



(39ページ)

2日

二つの生き方しかない。「環境のせい」「人のせい」にして結局、敗北する人。歯をくいしばって環境に打ち勝つ人。どちらを選ぶかは、自分で決めることです。



(84ページ)

3日

とにかく「何か始める」ことだ。やりやすい所から始めることだ。「三日坊主」でもいい。「三日坊主」でも「十回」やれば「一カ月」やったことになる。



(76ページ)

4日

私は信じている。使命ある諸君が、何かあろうと負けるわけがない、と。君たちは「勝つために生まれてきた」のだから！



(89ページ)

5日

「忙しいから無理だ」とあきらめたら負けです。「忙しいからこそ集中してやろう」と決めたら力が出る。私も、いつも「一日を一週間分、十日分に使おう」という決心で生きてきました。



(134ページ)

6日

「何を読もうか」と迷っている間に一ページでも読むことだ。まず「いつも本を手ばなさない」くせをつけよう。



(168ページ)

7日

「自分らしさ」とは自分がもっている力をぎりぎりまで、しぼり出した時、輝き始める。そういう「個性を鍛えた人」は他人を妬まない。



(187ページ)

8日

「受け身」になったら、どんな自由な世界であっても「不自由」な自分になる。逆に「攻め」の姿勢になれば、どんな不自由な環境であっても「自由」を味わえる。

(120ページ)



12日

一番大事なことは、どんな場合でも「自分なんか、だめだ」と思わないこと。自分をいじめないこと！自分で自分を励ますんだよ。落ち込んでしまった自分の心を、自分で「よいしょ」と持ち上げるんだよ。だって、君は素晴らしい人なんだから。

(293ページ)



9日

人生の道は厳しい。それを歩むのは「自分」です。戦うのは「自分」です。勝利しなければならないのは「自分自身」です。

(147ページ)



13日

「自分は、これを、やるんだ！」と、自分で決めて、それを、やり通してみることです。そうすれば、「自分は、やり切ったんだ」という自信ができる。

(129ページ)



10日

本は知識をくれる。本は感動をくれる。本は勇気をくれる。本は思いやりをくれる。本を読む習慣さえ身につけておけば、その人の道に「希望」が消えることはないんです。

(160ページ)



14日

相手に「学ぼう」という心は、「暴力」と反対です。そこから、人間らしい交流が生まれてくるんです。

(106ページ)



11日

努力、努力で個性を存分に鍛え上げた人は、他の人の個性の開花を喜ぶものです。応援するものです。人の成功が、うれしいものです。人のために、尽くせるものです。

(188ページ)



15日

御本尊は「鏡」です。自分の心が映る鏡です。だから「御本尊を大切にすると人は、御本尊から大切にされる」——これを覚えてください。これひとつを覚えていけば、人生は盤石です。

(320ページ)



16日

粘り強く勉強したり、いやな人にも笑顔で接したり、朝、頑張って起きたり、そういう日常生活の中で、「人間として正しい」道を歩み抜いていく勇気が大切なのです。

(356ページ)



20日

「正しいんだから、やる」——これが勇気です。「勇気」は「正義」と一体なのです。
(355ページ)



17日

どんな性格であろうと、自分らしく、「誠実に生きていこう！」と決めて頑張っていけばいいんです。その誠実さという「心の炎」が、自分の性格を、良い方向へ、良い方向へと、光らせてくれるんです。
(371ページ)



21日

信心は一生涯のものです。あせることはありません。青春時代に「生涯、信心をつらぬく」土台を築けばいいのです。
(321ページ)



18日

どんな人の中にも「仏界」——「仏の生命」がある。それは燃えたぎる太陽のような「勇気のかたまり」です。だから、勇気が「ない」のではない。あるんだが「出さない」だけです。
(363ページ)



22日

どんな悩みがあっても、君は負けるな！
どんな障害があっても、夢をあきらめるな！
自分のなかの「太陽」を輝かせて生き抜こう！
(402ページ)



19日

みんなが、「堂々と正義を主張できる人」に育った分だけ、平和は来る。平和は、だれから「与えられる」ものではない。平和は、自分たちで「創る」ものです。
(348ページ)



23日

この広大な宇宙の中で、みんなは、こうして地球を選んで、しかも、この「瞬間」ともいうべき今、いっしょに生まれてきた（中略）
自分のかげがえのない一生を、むだにはしていない。
(399ページ)



24日

「夢こそ力」です。「希望こそ力」です。
人間は「絶対に、これだけはやりとげるんだ」と固く固く決意したら、大ていのことはできるものなんです。

(454ページ)



28日

(信仰とは、)挑戦すべき「山」をつくり、「山」を乗り越え、また次の「山」をつくって乗り越えていく。乗り越えるたびに、もっと強く、もっと大きな自分へと人間革命していく。

(467ページ)



25日

私は、みんなに「かぎりなく温かい人」になってもらいたい。凍りついた心さえ、君に会うと、安心してほぐれていく。そんな「かぎりなく大きな人」になってもらいたい。

(236ページ)



29日

信心の力、題目の力は無限です。
人間が、誰でももっている「希望の力」を無限大に拡大し、増幅する力が、題目にはあるのです。

(467ページ)



26日

今の自分にできることは、小さなことかもしれない。その小ささを恥じて、手を引っこめてはいけない。「今、自分にできること」をやった人が偉いのです。

(268ページ)



30日

世界のどこかで、君が来てくれるのを、ひたすら待っている人がいる。必ずいる。君でなければできない使命が、必ずある。

(253ページ)



27日

学校の成績には序列がある。順番がある。しかし、生命に序列はつけられない。順番はつけられない。だれもが「一番」なのです。全員が「最高」です。

(448ページ)



31日

苦難を一つ一つ乗り越えるたびに、私は強くなりました。悩みとの戦いが、何も恐れない、何ものにも負けない、富士の山のごとき生命へと鍛えてくれました。今は、すべての苦勞に感謝しています。

(4ページ)

